

MMTの新スタンダードを
学べる1冊!

ついに 刊行!!

日本理学療法学会連合版 徒手筋力検査法

| 監 修 | 日本理学療法学会連合

| 編 集 | 日本理学療法学会連合 理学療法標準化検討委員会

日本理学療法学会連合が策定した
筋力評価の新たな指針となる検査法の手順・判定基準を解説!

各関節運動における主動筋の走行や筋触知法が
ビジュアルにわかる最新テキスト!!

徒手筋力検査法 (MMT) は理学療法士を中心としてリハビリテーションの臨床で
広く用いられている基本的評価法であり、養成校では必須の内容となっている。
本書は、学会が独自に策定したMMTを豊富なイラスト・写真でわかりやすく
まとめた最新テキストである。各項目は主動筋一覧、検査手技、主動筋触知法の
順に解説し、読者がイメージしやすく、わかりやすい構成となっている。



定価 3,850円
(本体3,500円+税10%)
B5判・216頁・オールカラー
イラスト450点、写真240点
ISBN978-4-7583-2269-0

目 次

1 章 総論

イントロダクション

2 章 検査法

— 頸部 —

No.1 頸部屈曲(GS1)

No.2 頸部伸展(GS1)

No.3 頸部回旋(GS2)

— 体幹 —

No.4 体幹屈曲(GS1*)

No.5 体幹伸展(GS1*)

No.6 体幹回旋(GS2)

— 肩甲帯 —

No.7 肩甲帯挙上(GS1)

No.8 肩甲帯引き下げ(下制)(GS2)

No.9 肩甲帯屈曲(GS1)

No.10 肩甲帯伸展(GS2)

— 肩関節 —

No.11 肩関節屈曲(前方挙上)(GS1)

No.12 肩関節肩甲骨面挙上(GS1*)

No.13 肩関節伸展(GS1)

No.14 肩関節外転(GS1)

No.15 肩関節外旋(GS1)

No.16 肩関節内旋(GS1)

No.17 肩関節水平外転(GS1)

No.18 肩関節水平内転(GS1)

— 肘関節 —

No.19 肘関節屈曲(GS1)

No.20 肘関節伸展(GS1)

— 前腕 —

No.21 前腕回外(GS2)

No.22 前腕回内(GS2)

— 手関節 —

No.23 手関節掌屈(GS1)

No.24 手関節背屈(GS1)

— 手指 —

No.25 手指屈曲(GS2)

No.26 手指伸展(GS2)

No.27 手指外転(GS2)

No.28 手指内転(GS2)

— 母指・小指 —

No.29 母指・小指対立(GS2)

— 股関節 —

No.30 股関節屈曲(GS1)

No.31 股関節伸展(GS1*)

No.32 股関節外転(GS1)

No.33 股関節内転(GS1)

No.34 股関節外旋(GS1)

No.35 股関節内旋(GS1)

— 膝関節 —

No.36 膝関節屈曲(GS2)

No.37 膝関節伸展(GS1)

— 足関節・足部 —

No.38 足関節・足部底屈(GS1*)

No.39 足関節・足部背屈(GS1)

No.40 足関節・足部回内(GS1*)

No.41 足関節・足部回外(GS1*)

— 足趾(指) —

No.42 足趾(指)屈曲(GS2)

No.43 足趾(指)伸展(GS2)

各検査は主動筋一覧，検査手技，主動筋触知法という流れで解説！
重力に抗して運動できる場合に有効な
徒手筋力計を用いた筋力測定の実例も一部の検査で提示。



No.31

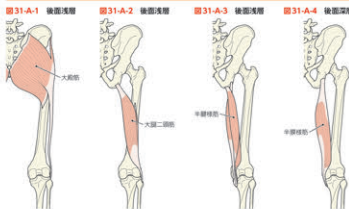
伸張 (GSI*)

股関節 伸張 (GSI*)

主動筋一覧

筋	神経根	神経	起始	停止
大殿筋 (Gluteus maximus)	下腰神経 L (4)・5, S1, (2)	腸骨・仙骨・尾骨の 腸骨筋帯、大殿筋筋 帯後面	腸骨筋帯、大殿筋筋 帯後面	大腿骨後部
大腿二頭筋 (Biceps femoris)	坐骨神経 根 腰 5, S1-S2 仙 1, S1, S2	坐骨神経 根 腰 5, S1-S2 仙 1, S1, S2	坐骨神経 根 腰 5, S1-S2 仙 1, S1, S2	腓骨筋、腓骨外筋
半腱筋 (Semitendinosus)	坐骨 (腰骨) 神経 L (4)・5, S1, (2)	坐骨神経	坐骨神経	腓骨上内筋 (腱)
半膜筋 (Semimembranosus)	坐骨 (腰骨) 神経 L4-S1	坐骨神経	腓骨内筋、斜腸筋 筋帯	

主動筋の触知



グレード3以上の検査

- 検査者の初期姿勢
 - 臀部で両上肢を横む。
 - 両肩関節屈曲で45度の20°屈曲位とし、踵を検査者に支えられる (図31-B-1)。
- 評価運動
 - グレード3：踵部で検査者の手を押して踵部を床面から浮かす (図31-B-2)。
 - グレード4以上：検査者の抵抗に抗してその踵を保持する。
 - 床面を踵で支え床面を押さないように注意する。
- 検査
 - グレード3：検査者の踵をその位置で保持する (図31-B-3)。
 - グレード4以上：踵部が床面から離れないように、背腰をしっかり固定した上、検査者の両肩関節を屈曲するように検査者の足を上方へ持ち上げる (図31-B-3)。
 - 検査者二人以上で実施することが望ましい。

図31-B-1



検査者は臀部で両上肢を横む。両肩関節屈曲、両肩関節20°屈曲位とする。
踵部は検査者の手を押す。その踵を保持する。

図31-B-2



検査者は股関節を伸張し、踵部をベッド面から浮かす。
踵部は検査者の手を押す。その踵を保持する。

図31-B-3



検査者は臀部で両上肢を横む。両肩関節屈曲、両肩関節20°屈曲位とする。
踵部は検査者の手を押す。その踵を保持する。同時に踵部
の骨を触知し、股関節に屈曲位で踵部を触知する。

判定基準

3	4	5
大殿筋の位置が少しでも上方へ持ち上げられる (股関節伸張の自動運動ができる)	中程度の抵抗に抗して股関節20°屈曲位に保持できる	強い抵抗に抗して股関節20°屈曲位に保持できる

図31-C-1



検査者は臀部をまっすぐにし、股関節屈曲位とする。
踵部は検査者の手を押す。下腿の骨を触知する。

図31-C-2



検査者は股関節を屈曲位で踵部を触知する。
踵部は検査者の手を押す。下腿の骨を触知する。

判定基準

2	1	0
股関節伸張・中程度の抵抗で自動運動ができる	収縮筋が確認できる	収縮筋が確認できない

9

検査の測定手技はイラストで表現。各グレードにおいて、どのような手順で検査・判定を進めるのかわかりやすい。

主動筋の触知部位は写真とイラストを並べてレイアウト。体表からの解剖が初学者にも理解しやすい！

伸張 (GSI*)

主動筋触知法

図31-D-1 大殿筋

図31-D-2 大腿二頭筋

図31-D-3 半腱筋

図31-D-4 半膜筋

図31-D-5 腓骨筋

図31-D-6 腓骨外筋

図31-D-7 腓骨内筋

図31-D-8 斜腸筋筋帯

図31-D-9 腸骨筋帯

図31-D-10 腸骨筋帯

図31-D-11 腸骨筋帯

図31-D-12 腸骨筋帯

図31-D-13 腸骨筋帯

図31-D-14 腸骨筋帯

図31-D-15 腸骨筋帯

図31-D-16 腸骨筋帯

図31-D-17 腸骨筋帯

図31-D-18 腸骨筋帯

図31-D-19 腸骨筋帯

図31-D-20 腸骨筋帯

図31-D-21 腸骨筋帯

図31-D-22 腸骨筋帯

図31-D-23 腸骨筋帯

図31-D-24 腸骨筋帯

図31-D-25 腸骨筋帯

図31-D-26 腸骨筋帯

図31-D-27 腸骨筋帯

図31-D-28 腸骨筋帯

図31-D-29 腸骨筋帯

図31-D-30 腸骨筋帯

図31-D-31 腸骨筋帯

図31-D-32 腸骨筋帯

図31-D-33 腸骨筋帯

図31-D-34 腸骨筋帯

図31-D-35 腸骨筋帯

図31-D-36 腸骨筋帯

図31-D-37 腸骨筋帯

図31-D-38 腸骨筋帯

図31-D-39 腸骨筋帯

図31-D-40 腸骨筋帯

図31-D-41 腸骨筋帯

図31-D-42 腸骨筋帯

図31-D-43 腸骨筋帯

図31-D-44 腸骨筋帯

図31-D-45 腸骨筋帯

図31-D-46 腸骨筋帯

図31-D-47 腸骨筋帯

図31-D-48 腸骨筋帯

図31-D-49 腸骨筋帯

図31-D-50 腸骨筋帯

図31-D-51 腸骨筋帯

図31-D-52 腸骨筋帯

図31-D-53 腸骨筋帯

図31-D-54 腸骨筋帯

図31-D-55 腸骨筋帯

図31-D-56 腸骨筋帯

図31-D-57 腸骨筋帯

図31-D-58 腸骨筋帯

図31-D-59 腸骨筋帯

図31-D-60 腸骨筋帯

図31-D-61 腸骨筋帯

図31-D-62 腸骨筋帯

図31-D-63 腸骨筋帯

図31-D-64 腸骨筋帯

図31-D-65 腸骨筋帯

図31-D-66 腸骨筋帯

図31-D-67 腸骨筋帯

図31-D-68 腸骨筋帯

図31-D-69 腸骨筋帯

図31-D-70 腸骨筋帯

図31-D-71 腸骨筋帯

図31-D-72 腸骨筋帯

図31-D-73 腸骨筋帯

図31-D-74 腸骨筋帯

図31-D-75 腸骨筋帯

図31-D-76 腸骨筋帯

図31-D-77 腸骨筋帯

図31-D-78 腸骨筋帯

図31-D-79 腸骨筋帯

図31-D-80 腸骨筋帯

図31-D-81 腸骨筋帯

図31-D-82 腸骨筋帯

図31-D-83 腸骨筋帯

図31-D-84 腸骨筋帯

図31-D-85 腸骨筋帯

図31-D-86 腸骨筋帯

図31-D-87 腸骨筋帯

図31-D-88 腸骨筋帯

図31-D-89 腸骨筋帯

図31-D-90 腸骨筋帯

図31-D-91 腸骨筋帯

図31-D-92 腸骨筋帯

図31-D-93 腸骨筋帯

図31-D-94 腸骨筋帯

図31-D-95 腸骨筋帯

図31-D-96 腸骨筋帯

図31-D-97 腸骨筋帯

図31-D-98 腸骨筋帯

図31-D-99 腸骨筋帯

図31-D-100 腸骨筋帯

10

各項目の冒頭に主動筋一覧の表とイラストを掲載。関節運動に関連する筋をイメージしやすい構成。



※ご注文、お問い合わせは最寄りの医書取扱店または直接弊社営業部まで。
〒162-0845 東京都新宿区西谷本町2番30号
TEL.03(5228)2050 E-mail eigyo@medicalview.co.jp
FAX.03(5228)2059 http://www.medicalview.co.jp

スマートフォンで書籍の内容紹介や目次がご覧いただけます。



メジカルビュー社

申込日 年 月 日 ご希望の冊数をご記入ください ↓

取扱店

日本理学療法学会連合版
徒手筋力検査法

定価 3,850円 (税込)
ISBN978-4-7583-2269-0

冊

フリガナ
お名前

お届け先

〒 (どちらかに○印 / ご自宅・ご勤務先)

TEL.

(

)